

PET/CT 検査 問診票

※この問診票は、放射線科の診断医が画像を読影するために重要な内容ですので、可能な限り詳しくお書きください。

(当てはまる方を○で囲み、該当する場合は()内に記入してください)

1. 以前に PET 検査を受けたことはありますか。 はい (いつ頃)・いいえ
2. 糖尿病と言われたことはありますか。 はい (空腹時血糖値 mg/dl)・いいえ
「はい」 の場合、現在治療中ですか。 はい (食事療法・内服薬・インスリン) ・いいえ
3. 手術や放射線治療をされたことはありますか。 はい ()・いいえ
4. 体内に金属はありますか。 はい ()・いいえ
5. ペースメーカー・除細動器はありますか。 はい (形式)・いいえ
6. 最近バリウムまたは内視鏡の検査を受けましたか。 はい (いつ頃)・いいえ
7. 閉所恐怖症はありますか。 はい・いいえ
8. 薬物・食物アレルギーはありますか。 はい ()・いいえ
9. 腎機能異常を指摘されたことがありますか。 はい ()・いいえ
10. タバコを吸いますか。 吸わない・吸う・止めた
「吸う・止めた」の場合 喫煙歴 (才から 才まで 約 本/1日)
11. 義歯 (取り外せる) はありますか はい・いいえ
(女性の方 12・13へ)
12. 月経はありますか。 はい (最終月経 月 日~ 月 日)・いいえ
13. 授乳中ですか。 はい・いいえ
14. がん治療で抗がん剤やホルモン剤を使用中あるいは使用したことがありますか? はい・いいえ
はいとお答えの方
 - ・内服 (最後に内服したのは _____ 頃)
 - ・点滴 (最後に点滴したのは _____ 頃)
 - ・皮下注射 (最後に注射したのは _____ 頃)
 - ・不明

15. 現在、または過去にかかった病気を教えてください。

病名	時期	現在は
_____	_____	治療中・完治

その他気になること、希望すること等があれば記入してください。

[_____]

PET/CT 検査を受けられる方へ

※検査の内容について重要な事項が書かれています。必ずお読みください。

1. 検査の説明

検査目的

PET 検査はがんまたは大型血管炎を検出する方法のひとつです。PET/CT 検査は、体内に静脈注射された薬剤と、CT 撮影による体の位置情報を組み合わせることによって、一度の撮影で全身の病巣の位置や大きさ・進行の度合いを診断することができます。

PET/CT 検査の原理

PET 検査では「がん細胞や炎症部位は正常の細胞に比べて多くのブドウ糖を取り込む」という性質を利用して、薬剤（以下、FDG）を体内に注射します。がん細胞などは正常な細胞より多くの FDG を取り込みます。そこから放出される微量の放射線を PET カメラでとらえて、病巣の位置や大きさ、進行の度合いを調べます。

注意事項

- 検査時間はおおむね3時間くらいです。検査が終わるまで検査室を出ることはできません。
- 検査中はお一人の行動になります。寝たきりの方や、トイレなどに介助が必要な方は検査をお受けできません。車いすの方でも介助の必要ない方は、検査を受けることができます。
- 職員の被ばく低減のため、介助は最小限にとどめますことをご了承ください。
- 水分制限のある方は、あらかじめ主治医にご相談ください。

遅延像追加の場合の必要性

肝臓、腎臓、尿管、膀胱などに FDG は生理的に集積しますので、異常部位と判断できない場合があります。時間をあけて再度撮影することで判断が可能となります。

2. 前処置の必要性について

運動をすると糖代謝が活発になり正常な筋肉の部分に FDG が多く集積してしまい、診断に影響がでます。また食事をしてしまった場合、血糖値が高い状態なので、FDG の集積が弱く診断不能となる場合があります。血糖値が高すぎる時は検査中止になる場合もあります。

3. その他

薬品供給とキャンセルについて

PET 検査用の薬剤（FDG）は前日に製薬会社に注文し、当日に他県から発送されてきます。薬剤は高価で長期保存ができません。急なキャンセルはご遠慮ください。また、予定時間に来院できない場合は、至急のご連絡をお願いします。前日までに分かっている場合は、確実に来院できる日、時間で予約しなおすようお願いします。

長岡赤十字病院 RI/PET センター

電話 0258-28-3600 内線 2174(平日 8:30~17:00)

当日のPET/CT 検査の流れと注意事項

(検査の流れ)

- ① PET センター受付で簡易な問診と検査の説明を行います。
- ② 待機室にて着替え（検査着）をお願いします。貴金属や大きな金具、入れ歯を外してください。
- ③ 看護師により、詳しい問診を行います。
- ④ 血糖値、体重の測定を行います。高血糖の場合、検査中止になる場合があります。
- ⑤ 腕に注射（¹⁸F-FDG）をします。（静脈注射）
 - ・薬剤注入は機械にて行いますが、その間（約1分）は絶対に動かないでください。
 - ・注射後は、注射部位を圧迫して止血してください（もまないでください）。
 - ・注射～検査終了まで検査室エリアから外へ出ることができませんのでご了承ください。
- ⑥ 注射後、待機室へ移動します。
 - ・約1時間、指示があるまで安静にしてお待ちください。
 - ・本を読む・動き回る・音楽鑑賞・物（飴、ガム等含む）を食べる等の行為は一切禁止です。これらの行為は、注射薬の異常な集積を招くために誤診の恐れがあります。
 - ・この間、ペットボトルの水をできるだけ多く飲んで下さい。（水分制限のある方を除く。）これにより余分な薬の尿からの排泄が早くなり、より正確な診断結果も得られます。お手洗いは、ご自由に行って頂いて結構です。
（注意）男性の方も必ず座ってご使用ください。便器外の汚染にご注意ください。
 - ・貴重品の取扱いには十分ご注意ください。常に携帯をお願いします。
- ⑦ 撮影時間になりましたら、インターフォンで撮影直前のお手洗いのご案内をします。
- ⑧ その後、PET/CT 検査室へ入室します。
検査寝台に横になって寝て下さい。閉所による圧迫感が少しあります。約20～30分間かけて、はじめにCT撮影を、続けてPET検査を行います。寝台が動いたり、止まったりしていますが、その間も撮影が続いていますので、動かないでください。基本的に息止めの合図はありません。
- ⑨ 1回目の撮影終了後、待機室で30分ほど休んでいただきます。この後、同様に2回目の撮影を行います。
- ⑩ 検査が終了しましたら、18番・救急外来受付で保険証を提示していただいた後、7番で会計を済ませてお帰りください。

(検査後の注意)

- ・検査終了後もあなたの身体からは微量の放射線が出ています。検査後は人ごみを避け、当日は診察や他の検査を受けないで下さい。また乳幼児や妊産婦との接触をお控えください。
- ・授乳中の場合は、検査当日の授乳はお控えください。
- ・なるべく水分を多く摂り、余分な検査薬を早く排泄させることをお勧めします。
- ・検査翌日以降は通常の生活で構いません。検査薬は体内から完全に消失し影響は残りません。
- ・検査結果は、後日主治医より説明があります。